

石川県鍼灸師会報 '17.2 第6号

いしかわけんしんきゅうしかいほう 公益社団法人石川県鍼灸師会

創立三十五周年記念号

祝



御挨拶

公益社団法人石川県鍼灸師会
会長 定池 寿



本日は、公益社団法人石川県鍼灸師会創立三十五周年式典を開催するに当たり、大変お忙しい中ご臨席賜りまして誠にありがとうございます。ご来賓の皆様におかれましては当会事業に一方ならぬご厚情とご鞭撻を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本会の歴史は鍼灸専門団体として昭和56年10月に創立し、昭和57年4月1日に社団法人の認可を石川県知事より得て社団法人石川県針灸師会として事業を進めて参りました。

平成26年4月1日に石川県のご指導のもと公益社団法人の認可を石川県知事より得て、新たに公益社団法人石川県鍼灸師会のスタートを切りました。

初代会長中村錦右先生のもと鍼灸専門団体の組織固めを行い、二代目会長金谷繁次先生、三代目会長高田外司先生、四代目会長金谷繁次先生に会の運営が引き継がれて参りました。歴代役員の方の先生方の苦勞なしには35周年を迎えることはできなかつたと思います。本当にありがとうございます。

設立35周年の歩みについては式次第に加えてありますのでご確認ください。

公益社団法人として会員の資質向上と学術の研鑽を行い、県民の健康保持と公衆衛生の向上を図ってまいります。また療養費適正事業を行っております。

会員の資質向上と学術の研鑽に対しては平成26年度・27年度の2年に渡り公益社団法人日本鍼灸師会専門領域研修制度の「鍼灸リスクマネジメント研修」を行い、受講した会員は日本鍼灸師会より認定書を頂きました。また年度ごとに学術講習会・研修会を開催しております。

県民の健康保持と公衆衛生の向上に対し、鍼灸施術の普及を目的として毎年県民公開講座を開催し自宅で出来るお灸をテーマとして進めております。また金沢マラソンを始めスポーツ現場における鍼治療のボランティア活動を行っております。子育て支援の一環として、スキントッチ教室の開催や子育て支援メッセに参加をしております。

療養費適正事業としては療養費取扱いに対し公益社団法人石川県鍼灸マッサージ師会と合同で学術研修会・療養費適正指導会を行い、会員に対し療養費の適正な取り扱いに努めております。近年、株式会社の訪問マッサージ等により全国的に不正請求や不適切な請求があり、新聞紙上をにぎわしておりますが公益社団体の会員として不適切な請求を行わないように指導を行っております。療養費には医師の同意が必要なため、公益社団法人石川県医師会様のご協力が必要になります。会員指導を徹底し綱紀肅正に努めてまいります。石川県医師会会員の先生方には、はり・きゅうに対するご理解とご協力をお願いいたします。

今年には熊本地震・鳥取地震が発生しました。近年自然災害が増えています。災害の中で鍼灸師がどのような立場で支援してゆくかが、東日本大震災以降模索されておりました。昨年、「JIMTEF災害医療研修会」に参加し、多職種連携の災害支援の大切さを学びました。熊本地震において日本鍼灸師会が指導を行い、福岡県鍼灸師会が主となり熊本県鍼灸師会の会員と共に「JIMTEF災害医療」研修を生かし、多職種連携のボランティア活動を行っております。石川県鍼灸師会としても日本鍼灸師会が行っている「災害支援鍼灸師養成講座」を多くの会員が受講し、「災害支援鍼灸師」として活動で

きるように努めてまいります。また「災害支援マニュアル」を日本鍼灸師会の指導のもと作成し、石川県危機管理課に示したいと思っております。

災害医療は、地域包括ケアシステムの内容によく似ております。地域包括ケアシステムに参入出来るように会員が努力してゆかなければなりません。来年度は「介護予防指導員養成講座」を実施し、地域包括システムに関わって行きたいと思っております。

鍼灸業界については、この後公益社団法人日本鍼灸師会会長仲野先生がお話になると思っております。日本鍼灸師会の事業に積極的に協力をして行きます。

最後になりますが、私ども鍼灸専門団体として設立の趣旨を鑑み、果たさなければならぬ責務は益々重要になります。特に、鍼灸団体に入会しない鍼灸師が増えている昨今、鍼灸師会の魅力をどうアピールするかを課題と考えております。公益社団法人日本鍼灸師会と協力して魅力有る業界に成るよう課題の克服に努めて参ります。

創立35周年を機に会員一同、県民の健康・福祉に貢献できるよう努力・研鑽を重ねる所存であります。ご来賓皆様のより厳しいご指導をお願い申し上げ、挨拶と致します。

平成28年11月20日



来賓祝辞

石川県知事 谷本 正憲
代理石川県健康福祉部長 山本 陽一



本日、石川県鍼灸師会の創立三十五周年記念式典が開催されますことを、心よりお祝い申し上げます。

定池会長をはじめとする石川県鍼灸師会の皆様方におかれましては、昭和五十六年の設立以来、三十年以上もの永きにわたり、各種講習会の開催や学術大会への参加を通じて鍼灸技術の研鑽に努められるとともに、スポーツ大会でのボランティア活動など、県民の健康保持・増進にご貢献いただいております、この場をお借りしまして、厚く御礼申し上げます。

こうした極めて公益性の高い事業が認められ、一昨年四月より、公益社団法人石川県鍼灸師会として新たな歩みを始められたとのことであり、重ねてお祝い申し上げます。

また、本日、栄えある表彰を受けられました皆様方には、心からお祝いを申し上げます。

これまで、永年にわたり、はり師・きゅう師の業務に専念され、県民の健康と福祉の向上に大きく貢献いただきましたことに、深く敬意を表する次第であります。今後とも、その豊かなご経験と高いご見識で、ますますご活躍されますことをご期待申し上げます。

本格的な高齢社会を迎えた今日、単に長寿というだけでなく、生涯にわたり元気で自立して暮らせるよう健康寿命を少しでも伸ばすことが重要となっております。

県といたしましても、「いしかわ健康フロンティア戦略」のもと、県民の皆様が住み慣れた地域でいつまでも安心して生活できる社会づくりに取り組んでまいりますが、貴会の皆様方には、今後とも本県の保健医療施策になお一層のご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

また、近年、全国各地で地震などの大きな災害が発生し、被災者の食生活や生活環境の悪化と、ストレス過剰が懸念されておりますが、心と身体のバランスを図ることを治療の目的とした東洋医学である鍼灸は、地震や台風などによる被災者の疲労感を和らげ、被災下での健康レベルの維持に大いに貢献できるものであるとお聞きしております。貴会におかれましても、今後、被災者が健康な状態を維持できるよう、適切なケアの提供が期待される災害支援鍼灸師を確保していくこととお伺いしており、大変心強く感じる次第です。

結びに、この三十五周年を契機に、石川県鍼灸師会の今後益々のご発展と、本日、ご列席の皆様方のご健勝と更なる発展を心から祈念申し上げまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

公益社団法人 日本鍼灸師会
会長 仲野 弥和



創立35周年を迎えられ、貴会の歩まれた歴史に敬意を表し、その記念式典が盛大に挙行されましたことに心よりお慶び申し上げます。

私が鍼灸の世界に身を置いたときから今日までのことを重ね合わせながら、さまざまな事柄を思い浮かべました。

平成15年10月に石川県金沢市で開催された第4回日本鍼灸師会臨床学術大会で、当時の実行委員長が、過去にない新しいプログラムとしてコミュニケーションの重要性を取り入れられました。また、「これからはお灸だ!!」のテーマで公開実技を行われましたが、いま、海外で活動するモクサアフリカの活躍が素晴らしいニュースとして取り上げられ、多くの関係者に広まっていることは、このときが序章となっていたのではないかと思います。

その後、平成18年に石川県で開催された第55回(社)全日本鍼灸学会学術大会に後援されるなど、鍼灸医療のゆるぎない立場を確立しようと多くの医療界の面々と協力し、日々努力されている姿に感謝します。また、医療人としての立場を貫きながら鍼灸医療に携わる多くの仲間を牽引されてきた貴会の姿勢は、鍼灸師会の模範として今に継承されています。これは新しい企画を取り入れようという貴会の皆さんのチャレンジ精神があったからこそできたのであらうと思います。

いま、日本は超高齢社会となり少子化が加速しています。鍼灸師は健康長寿と未病学の重要な担い手であり、周りの医療関係の方々と話し合う機会を増やすことで、よりよい治療を行う環境づくりができ、その積み重ねが多職種連携と協調に繋がります。その協調の中で山積する医療の枠組み、療養費の扱い、法改正、教育関連などの諸問題を解決する道を拓きながら進まねばなりません。そして、伝統医療のパラダイムの構築と、私たちの得意とする養生法をしっかりと国民生活に根付かせたいと考えておりますので、未病治の専門家ということを、自信を持って世の中にアピールしていただきたいと思えます。

また、国を挙げて2020年のオリンピック・パラリンピックに向かって進んでいますが、AcuPOPJ(鍼灸医療推進機構)を含めて、多職種連携を図りながら職能団体としての目的を遂行する事業展開を進めなければなりません。

世界のトップアスリートたちが集結する2020年のビッグイベントまで4年を切りましたが、23年ぶりに日本で開催されたWFAS(世界鍼灸学会連合会学術大会)でも日本鍼灸が世界に発信され、今後は諸外国との交流を視野に入れた事業の開拓のときに来ていると思えます。

北陸新幹線という一本の大動脈が繋がって周囲との距離が一気に縮まったように、通信技術などの飛躍的な進歩により世界との距離も感じなくなりました。貴会の実績から近い将来、北陸屈指の観光地である加賀百万石・石川県で大きなイベントが行われることに繋がる可能性もあり、そのことに期待したいと思います。

最後に、35周年という節目を迎えられ、関係各位のご理解とご支援をいただきながら一層飛躍されますよう大いに期待しますとともに、貴会のますますのご発展と会員各位のご健勝ご活躍を心から祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。

式 辞

石川県医師会会長 近藤 邦夫
代理石川県医師会副会長 上田 博



公益社団法人石川県鍼灸師会が創立35周年を迎えられましたことを心からお慶び申し上げますとともに、本日の記念式典の開会に当たり、石川県医師会を代表いたしまして、一言、ご挨拶を申し上げます。

定池会長さんをはじめとする石川県鍼灸師会の皆様には、平素から医師会の活動に格別のご理解とご協力を賜り、心から厚く御礼を申し上げますとともに、昭和56年の設立以来、鍼灸師の資質向上や県民公開講座の開催などを通じて県民の健康増進に取り組んで来られましたことに改めて心から敬意を表する次第であります。

また、本日、永年にわたり鍼灸師の業務に精励され、表彰を受けられました皆様には、心からお祝いを申し上げます。誠におめでとうございます。今後とも、地域の保険医療の発展にご尽力賜りますようお願い申し上げますとともに、それぞれの地域や職域において、なお一層ご活躍されますことを心から祈念申し上げます。

さて、我が国の医療を取り巻く環境につきましては、国の財政偏重の制度改革や行き過ぎた規制緩和などにより、地域における医師不足を招くなど、今なお多くの課題を抱えているところであります。加えて、年内にも策定される「地域医療構想」に基づく病床機能の見直しや、団塊の世代が後期高齢者になる2025年に向けた地域包括ケアシステムの確立が急務の課題となっております。

そうした一方で、県民は医療に対し、より一層の「質の向上」と「安全安心」の確保を求めており、医師会としても、貴会をはじめとする関係の皆様方と連携・協力しながら、引き続き、在宅医療の更なる充実や医療・介護の連携強化などに、しっかりと取り組んでいかなければならないものと考えております。

鍼灸師会の皆様方におかれましても、今後とも、誰もが安心して質の高い医療を等しく享受できるよう特段のご高配を賜りますとともに、県民の健康の増進と福祉の向上を目的に設置されました石川県医療推進協議会の一員として、変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、石川県鍼灸師会の今後益々のご発展と、本日ご参集の皆様方のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。

平成28年11月20日

祝 辞



金沢市医師会会長 安田 健二

このたびは石川県鍼灸師会創立35周年おめでとうございます。

そして、表彰を受けられた会員の方々に敬意と謝意を表します。

さて、昨年行われた参議院選挙では自見はなこ先生が医療系としてトップ当選を果たしました。これも石川県鍼灸師会の先生方のご協力があったからこそです。心より感謝申し上げます。おかげで従来、参議院厚生労働委員会は同一業界内からの委員は原則一人ですが、これまで委員だった羽生田俊先生が委員長になられ、自見はなこ先生が委員になりました。ぜひ地方の我々の意見を吸い上げていただきたいと思ひます。

さて私は耳鼻咽喉科医ですが、東洋医学や伝統医学を理解し重んじている方だと思ひております。例えば、東洋医学に興味ある患者さんや親御さんには乳児の夜間の鼻閉には「鼻根部に蒸しタオルを当てて迎香を軽く押しなさい」、頭痛関連性めまいに関しては「呉茱萸湯を飲ませて、百会を抑えるように」と伝えます。しかし、我々は経験医学ではなく実証医学ですので、そこで止まっておられません。やはり明治政府が西洋医学を採用した時点で、自然科学の土俵での議論はエビデンスを求めてきます。呉茱萸湯のエビデンスを出すためにネコを使って呉茱萸湯の成分を分離・抽出・投与し脳血管拡張作用を確認する薬理学的な実験を行いました。そこまでやって発表の場を設けていただきました。東洋医学や鍼灸はそのような方法論になじみにくいのですが、人を扱っている以上自然科学の一部であると思ひます。今ほど日本鍼灸師会の仲野会長もおっしゃっていましたが、ぜひエビデンスも出していただきたいと思ひます。

そして、最近鍼灸の先生方の活動は多岐にわたっております。先ほどのお話にもありましたが熊本地震の際に医師が鍼灸で救護所に詰めていた発表を先月の東洋医学会北陸支部例会でお伺いしました。金沢では鍼灸の先生方が金沢マラソンをはじめとするいろいろな場所で活動されております。今後地域包括ケアの介護でもお仕事の機会はあると思ひます。ぜひさまざまな場面で鍼灸の先生方が活躍されることを願ってお祝いのあいさつとさせていただきます。

本日は創立35周年まことにおめでとうございます。

祝 辞

前文部科学大臣
衆議院議員 馳 浩



この度、石川県鍼灸師会が創立35年をお迎えしたことを心からお慶び申し上げます。貴会は、業務の合間をぬって、震災ボランティアとして、また県内トライアスロン大会をはじめ各種スポーツ大会でのボランティア治療を通して社会奉仕に精励されておられます。このことは大変高く評価されますとともに、深く感謝致したいと存じます。

さて2020年には、東京オリパラ大会が開催されます。その際、我が国の「おもてなし」として、貴会はもとより全国組織において、海外から来られるアスリートはもちろんスタッフの皆様にも鍼灸をして頂いて、最高のコンディション作りに一役買って頂きたいと存じます。これがきっかけに、鍼灸が広く海外に宣伝され、海外の訪日旅行者が利用されることにつながると確信しております。

いずれにしましても、貴会のこれまでの発展にご尽力された先人に感謝しつつ、そして40年、50年に向けて貴会がますますご発展されますことを心より祈念申し上げまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

祝 辞

自由民主党幹事長代理
参議院議員 岡田 直樹



石川県鍼灸師会がめでたく創立三十五周年を迎えられ、記念式典が盛大に執り行われるにあたり心よりお慶び申し上げます。

県民が健康で安心して生活できるよう日々献身的にご尽力いただく関係の皆様には深甚なる敬意を表します。

あわせて、永年のご功績で本日表彰される皆様には誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

本日の記念式典が意義深く、実り多いものとなり、石川県鍼灸師会のさらなる発展につながるものをご期待いたします。

お集まりの皆様のご健勝ご活躍を心からお祈りいたします。

祝 辞



顧問 田中 博人

このたび、公益社団法人石川県鍼灸師会が創立35周年を迎えられ、ここに会報記念誌が発刊されますことを心からお祝い申し上げます。

今年、北の大地に北海道新幹線が開通し、北海道～鹿児島まで日本列島を新幹線で横断するネットワークがつながりました。新時代の幕開けを温かく見守り、地域振興の活性化へ繋がると期待します。

貴会は、鍼灸専門団体として昭和56年の創立以来、鍼灸技術の講習・習得、資質の向上、さらにスポーツ・マラソン催事等のボランティア治療、災害医療において鍼灸師として震災ボランティアなど、治療を通じ県民の健康維持 増進に貢献されておられます。定池会長、会員各位のご努力と熱意の賜物と敬意を表します。

近年は、伝統的医療（東洋医学の一分野として）鍼灸医学の効果が証明されております。今後も、社会のあらゆる活動に取り組み、地域の健康づくりにご尽力賜りますようお願い申し上げます、貴会のますますのご発展、会員の皆様のご健勝 ご多幸をご祈念申し上げますお祝いの言葉とします。

記念式典で祝辞を頂いた国会議員



参議院議員 山田 修路



参議院議員 宮本 周司

両議員より温かい御祝辞を頂きました



表彰者

石川県知事表彰受賞者

長町 洋治 ・ 寺本 憲雄 ・ 光井 峰生



長町 洋治



寺本 憲雄



光井 峰生

会長表彰受賞者

永年表彰：桶元 成貢 ・ 宇野 幸治

村田 淳一 ・ 三野 喜邦

宮野 健二郎

功劳表彰：大内 康弘



桶元 成貢



宇野 幸治



三野 喜邦



宮野 健二郎



大内 康弘



会長感謝状受賞者・学校・企業

松田 朗 ・ 山下 竜司

金沢医療技術専門学校

セイリン株式会社

株式会社カナケン



山下 竜司



金沢医療技術専門学校



セイリン株式会社



株式会社カナケン



公益社団法人日本鍼灸師会倫理綱領

日本鍼灸師会会員の遵守すべき倫理綱領を次のように定める

- 一、 私は生涯を人類への奉仕に捧げることを誓う
- 二、 私は常に患者の健康の回復と保持増進を第一に考える
- 三、 私は患者の信頼に応えて秘密を厳守する
- 四、 私は良心と誠意をもって治療に専念する
- 五、 私はたえず鍼灸の学と術について最高の水準を保ち疾病に関する知識を一層深め伝統を守りその伝承に努力する
- 六、 私は鍼灸治療の有効性を高めその学術的研究の業績を重ねることによって他の医療分野から信頼と協調を確保し患者の治療に努力する
- 七、 私は鍼灸治療の適応を十分認識し無効な治療を行うことなく更に過誤を犯すことのないように努める
- 八、 私は常に自己の職責に誇りと責任をもち鍼灸師としての名誉と尊厳をもって鍼灸の発展に努力する
- 九、 私は治療に当たって宗教国籍人種政党社会的地位の違いによって患者に果たすべき義務を変えることはしない
- 十、 私は流派を超えて相互に鍼灸師を尊重し鍼灸界の団結を高め鍼灸師の資質向上のために努力する



閉会の挨拶 川本 力雄 監事

記念祝賀会



会長挨拶

祝賀会で挨拶を頂いた来賓

衆議院農林水産委員長
衆議院議員 北村 茂男



公益社団法人 石川県鍼灸師会がこのたび創立三十五周年を迎えられ、記念式典がかくも盛大に開催されますことをお慶び申し上げますとともに、創立時より永きにわたり、県民の健康増進と福祉向上に並々ならぬご尽力を賜りました会員各位に改めて感謝申し上げます。

また、本日表彰の栄に浴されます皆様のご功績に対し深く敬意を表し、心よりお祝い申し上げます。引き続き、鍼灸業界の振興・発展の牽引役としてご活躍されますよう、併せて皆様のご健勝とご多幸を祈念致します。



衆議院議員 佐々木 紀

石川県鍼灸師会の創立35周年をお慶び申し上げます。また、本日表示を受けられる皆様に、心よりお祝いを申し上げます。

鍼灸は東洋医学の一つの分野として様々な疾患への効果的な治療法として世界的にも注目を浴びるようになっていきます。

今後とも鍼灸医療の領域が拡大し、鍼灸師会の発展と皆様のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。



関係団体挨拶



新潟県鍼灸師会会長 中澤 義則



富山県鍼灸マッサージ師会会長 中野 邦雄



福井県鍼灸師会会長 中村 寛



石川県鍼灸マッサージ師会会長 常盤 和成



石川県柔道整復師会副会長 堂本 義邦



田中博人顧問による乾杯

歓談の様様





山下竜司先生のマジックショー





記念撮影準備中



最後は三本締めで♪

31年（平成24年）から35年（平成28年）のあゆみ

平成24年

県民公開講座を開催
石川県スポーツトレーナー連絡協議会 金沢市民マラソン
鍼灸無料相談体験会を開催
親子スキンタッチ教室を県内児童会館で開催
七尾湾岸トライアスロン大会ボランティア治療
北陸ブロック会議を金沢市で開催

平成25年

七尾湾岸トライアスロン大会ボランティア
子育て支援を県内児童会館で開催
子育て支援メッセに参加
石川県スポーツトレーナー連絡協議会 金沢市民マラソン
鍼灸無料体験会を此花公民館、鶴来公民館で開催
県民公開講座を開催

平成26年

4月1日を以って公益社団法人の認可を得る
専門領域リスクマネジメント講習会を開催（平成26年～平成27年）
七尾湾岸トライアスロン大会ボランティア治療
石川県スポーツトレーナー連絡協議会 北信越国体予選ソフトテニス
金沢市城下町マラソン

県民公開講座を開催
鍼灸無料相談会を此花公民館で開催

平成27年

JIMTEF 研修会を受講
セイリン主催学術講習会を本会が後援
県民公開講座を開催
ソフィア病院ボランティア治療
石川県スポーツトレーナー連絡協議会 日本マスターズスポーツ大会バドミントン競技
日本マスターズスポーツ大会軟式野球競技
金沢マラソン

子育て支援メッセに参加

平成28年

JIMTEF 研修会を受講
災害支援鍼灸師養成講座を受講
県民公開講座を開催
子育て支援メッセに参加
石川県スポーツトレーナー連絡協議会 金沢マラソン